

令和3年度事業計画書 — 白楽荘・医務室 —

テーマ：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

サブテーマ：多職種との連携・協働により安心できる看護、個別性のある看護を提供する

1. 安全で安心した生活を送れるよう健康管理を行う

- ①安定した看護が継続できるよう、災害や感染症発生時の研修やシミュレーションを行い、感染対策の周知・徹底に努める。
- ②災害時には多職種で情報共有・ケアの統一を図り、安全・安心な看護を提供し健康維持に努める。
- ③利用者・家族の思いを尊重し、早い段階で家族へ連絡や病状説明を行い、安心に繋げる。
- ④科学的介護に基づく計画書作成に必要な医療情報を提出し、定期的に医学的評価を見直す。

2. 個別機能訓練によりA D L維持、寝たきり予防に努める

- ①個々に適した車いすや、クッションを使用し、統一したポジショニングを推進する。
- ②科学的介護情報システムへのデータ提出とフィードバックを活用しA D L低下を防ぐ。

3. 働きやすく、魅力ある職場作り

- ①気軽に相談できるよう思いやりの気持ちを持ち、認め、支えあうことで信頼関係を構築する。
- ②常に感謝や労いの言葉を掛け合い、お互いのモチベーションを高める。
- ③災害や感染症発生時、支障をきたすことがないように、情報を伝達し共有する。

04. 看取りケアの充実

- ①他職種連携により、その人らしい安らかな最期を迎えられるよう支援する。
- ②医療・生活の両面からその人らしさをアセスメントし、ケアに繋げる。
- ③利用者・家族の思いを尊重し、安心できるよう声掛けを行う。
- ④看取りの状況や日々の変化などを家族に伝え、意向を確認し理解を得る。